



1学期を振り返り、夏季休業中の学習計画をたてよう!!

1学期を振り返り、学習成績や部活動・生徒会活動などの学校生活がどのようなものであったかを自分自身で確認してみましょう。4月当初より、学力ばかりでなく、学習への取り組み方や意識がどれだけ向上したのか、また、部活動などの学校生活を仲間と協力して、楽しく過ごすことができたかを振り返りましょう。

振り返りを基に、夏季休業中に学習面で足りなかった部分を補い、自分の弱点を克服する学習計画をたて、実行していきましょう。

特に3年生は、行動や意識の中に履歴書や活動報告書に記載できるような内容を持っていたかを確認しましょう。1年生の時から現在の自分の成長した部分を相手にわかるように話したり、3年間で努力してきたことを読みやすい文章として表現できるようにしましょう。

共通テストについて

本校では、総合型選抜、学校推薦型選抜の可否にかかわらず、大学に進学を希望する生徒は共通テストを受験するよう指導しています。自分の学力を客観的に捉えてもらいたいことと学ぶことに対しての意識を持ち続けてもらいたいからです。大学に入学後も高い目的意識や向上心を持って、学校生活を送ってもらいたいと考えています。

今年度の共通テストに関する日程は次の通りです。

受験案内の配布	9月 1日(水)～	学校で取り寄せ、配布します。
検定料の払い込み	9月 1日(水)～10月7日(木)	個人単位で払い込みます。
出願期間	9月27日(月)～10月7日(木)	学校でまとめて出願します。
確認はがき	10月27日(水)までに到着	
受験票の送付	12月15日(水)までに到着	

本試験 令和4年 1月15日(土)・1月16日(日)

今求められている学力の3要素とは

大学入試において、「学力の3要素」を取り入れた内容が重視されています。その内容について改めて確認しましょう。

インターネットが普及することでグローバル化が進み、IT(情報技術)やAI(人工知能)が発展することで仕事の進め方や職業のあり方などが大きく変化しています。このような急速な社会変化に対応するためには、様々な人々と協力して、社会が抱えている課題の解決に取り組まなければなりません。

新しい価値の生み出し、その価値を組み合わせることで、社会の担い手としての「資質」や「能力」を見つけ出し、いかなければなりません。新しい「資質」や「能力」を身に付けるために必要となる力が“学力の3要素”になります。

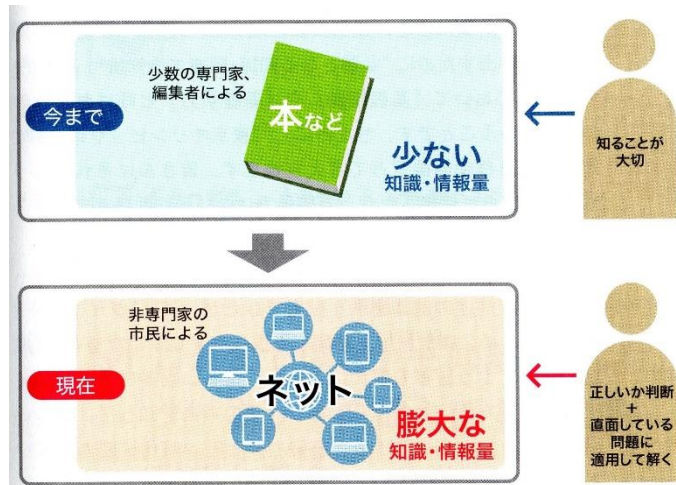


○ 「知識・技能」＝生きていくために必要

求められている「知識・技能」の形が時代の変化とともに変わってきています。従来「知識」と呼ばれてきた事柄は、インターネットを使用すればすぐ調べられる時代になっています。

膨大な情報があふれている現在では、知りたい情報を調べる際に、情報の正しさを判断する力が必要になってきています。正しく判断するためには、様々な知識があると正しい情報にたどり着けなくなっています。

正しい知識を導き出せる力や一つの知識だけでなく、それに関連する知識を結び付けられる力が必要になってきています。このことが現状求められる「基礎力」＝「基礎知識」・「基礎学力」になります。



○ 「思考力・判断力・表現力」 ＝未知の状況に対応するために必要

これからの社会は、外国の人達の生活様式や考え方、日本人との価値観の違いを理解し、様々な人の主張の真意を推定したりする「思考力」、知れた情報の真偽を見極めたり、社会の変化で発生した予期できない事柄にも順応に対応できる「判断力」、自分の考え・意思を相手に伝えることのできる「表現力」が必要になってきています。

これまでは、物事の事実を知っているだけでよかったのですが、現在は、膨大な情報量の中で、なぜそれが正しいと自分は考えているのか、他人に自分の意見を述べ、わかりやす

く説明できる能力が必要となっている時代です。

今までは「理解している」という状態は、「書いてあることがきちんとわかっていて、それを正確に表現できている」ことです。これからの「理解している」という状態は、「持っている知識を上手に活用できる」・「知識をどのように使えばよいかわかっていて」ことです。

知識を上手に使えなければ、本当に理解していると判断されない。知識をきちんと理解しているかは、その人の行動に顕著にあらわれてきます。このことは、自分の持っている知識や身につけた技術をどのように社会に生かしていけるのか、役立てられるのかが重要な時代になってきていることを示しています。

○ 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」 ＝学んだことを社会に生かすために必要

現在日本の社会が抱えている問題は、自分の近くにいる人だけでは解決できない場合が多くあります。国内や国外の人達と協力しながら、目標の実現を目指したり、社会問題の解決に取り組んで行くことができます。このためにも「主体性」・「多様性」・「協働性」といったものが重要となってきます。

自ら積極的に頑張ろうとする意欲や周囲の人々と協力して取り組む姿勢は、物事を成功に導くうえで重要な要素です。これは自分から働きかける「主体性」になります。各々が「主体性を持つことで、仕事に対する意欲や強い責任感、チームワークの良さが生まれ、問題の解決に結びつきます。

自分と考えの異なる人々＝多様な人々と議論するからこそ、「多様性」の中から新しい考えが浮かんだり、思考の行き詰まりが解消されるのです。

また、自分がやっていることの面白さや重要性を周囲の人に伝えていけると、学問や研究、仕事の分野で周りの人が助けてくれる場合もあります。「協働性」ということは、学びを発展させるうえでも、継続させるうえでもとても重要なことです。当然ながら自分から働きかけるつまり「主体性を持って」行うことが大切です。

大学入試において、共通テスト・個別学力試験・小論文・面接・志望理由書等で、“学力の3要素”を問われています。自分の考えを述べる際には、自ら考える力、判断する力、自分の考えを他人に表現できる力が必要となります。十分な対策をして、受験に臨みましょう。